

令和3(2021)年10月11日

国立大学法人東京芸術大学

TOKYO GEIDAI ART FES BY AUGMENTED REALITY IN 善通寺 開催のご案内

2021年11月6日(土)12時～11月14日(日) (リアル展示)

2021年11月6日(土)～12月26日(日) (AR展示)

会場: 善通寺市観光交流センター及び善通寺市内

東京芸術大学と香川県は11月6日から12月26日までの間、香川県善通寺にてAR(拡張現実)を駆使した展覧会「TOKYO GEIDAI ART FES BY AUGMENTED REALITY IN 善通寺」を開催いたします。

香川県善通寺市の街中に設置されるAR(拡張現実)¹マーカーにスマートフォン等をかざすと作品が画面に現れ、スマートフォンが「展示室」となります。マップを片手に街を散策しながら作品を楽しむことができます。

ARマーカー散策行程の中央にあたる善通寺市観光交流センターは情報発信の拠点として、リアル展示も行います。ここでは、たくさんの人の手で編まれた巨大漁網作品の展示をします。多くの人に協力してもらって、縄文時代の生活を想像しながら植物の繊維を用い漁網を編み、将来的に地引網に挑戦するプロジェクトです。本展示に関連し、県民とアーティストと一緒に参加するワークショップも予定しています。

東京芸術大学の専門性や芸術的資産を生かした県民参加型のパブリック・アート活動を通じて、広く質の高いアートに親しむ機会を提供し、「アート県かがわ」の重要な事業として国内外に向け広く公開し、アートを活かした地域の活性化をはかります。

AR展示は香川大学創造工学部造形・メディアデザインコース(講師:柴田悠基)の協力を得ています。

私たちの日常生活の中に今大きな変化が起こってきています。

太陽が東から昇り、西に沈み、夜空になり、星が瞬き、やがて夜明けが近づくという現実空間の中にもうひとつの時空間が手のひらの中に出現してきています。そのもうひとつの時空間の中では、ここではない空間、今ではない時間へ自由に行くことができます。

東京芸術大学出身・在学のアーティストたちが「東京藝大アートフェス2021」で制作した作品が「TOKYO GEIDAI ART FES BY AUGMENTED REALITY IN 善通寺」として、あなたの手のひらの中に現れます。そのもう一つの世界への入り口を善通寺市内の各所に設置しました。あなたのスマートフォンを持って探しに出かけてみてください。

また、善通寺市観光交流センターには、あなたの想像力でもうひとつの時空間へ行くことができる作品が設置してあります。

こちらはあなたの身ひとつでお越しください。お待ちしております。

¹ AR(拡張現実)とは:

「拡張現実」(Augmented Realityの略)。実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示することで目の前の世界を仮想的に拡張することができる技術です。

開催概要

主催： 香川県、東京藝術大学
特別協力： 香川大学
協力： 善通寺市
監修： 日比野克彦（東京藝術大学美術学部長・教授）

オープニングセレモニー

対象： 報道関係者
日時： 2021年11月6日(土) 10:00～10:30
会場： 善通寺市観光交流センター（〒765-0003 香川県善通寺市善通寺町二丁目8番23号）
出席者： 香川県副知事、東京藝術大学美術学部長(リモートでの参加)、香川県会議長、善通寺市長、善通寺市会議長

内覧会

対象： 報道関係者
日時： 2021年11月6日(土) 10:30～11:30
会場： 善通寺市観光交流センター（同上）

リアル展示（巨大漁網作品の展示）

制作： 東京藝術大学美術教育研究室＋染織研究室
会期： 2021年11月6日(土)～11月14日(日) 期間中無休
会場： 善通寺市観光交流センター（同上）
開館時間： 9:00 - 19:00 ※入場は閉館の30分前まで（11月6日(土)は12:00から開館）

漁網づくりのワークショップ

会場： 善通寺市観光交流センター
日時・参加方法等の詳細は展覧会ウェブサイト上に掲載します。

リアル展示とワークショップについて

東京藝術大学美術教育研究室＋染織研究室は、2018年から縄文文化をテーマに青森県と「あおもり JOMON GYOMO プロジェクト」という教育とアートの可能性を探求する活動を実践しています。当初は県内の学校教育の現場から始めたものでしたが、縄文遺跡/文化は全国に広く分布していることから2021年度より全国的に活動の輪を広げて取り組んでいます。

苧麻(からむし・チョマ)という植物繊維を素材に、一人ひとりが編んだ小さな網を連結して大きな漁網にして地引網をするのが目標です。

その後漁網作品の展示を経て、網の一部に樹木等の種子を漉き込んだシードペーパーを取り付けて苗床にし、植栽して未来につないでいきます。

コロナ禍中、人と人とのふれあいが希薄な今だからこそ、今回のリアル展示とワークショップにより、香川県の皆様とこの制作に関わってきた全国の人々とを地域や時間を超えて、ひと目ひと目の網目としてリアルにつなげられることの意義は大きいと考えております。ぜひご高覧くださいませようお願いいたします。

また、香川県の皆様にこの活動にご理解いただき、巨大漁網作品の共同制作者となっただきたくワークショップへご参加くださいますようお願いいたします。

東京藝術大学美術教育研究室 准教授 渡邊五大

AR 展示

アーティスト: 青木飴色、東弘一郎、CAI Qin、CHEN Wei Ting、千葉理子、張彬文、大幸龍悦、福原翼、長谷川将山、廣岡直哉、木南玲、木下裕司、小林さらん、李菲菲、中村儒纏、西毅徳、R&B(ランニングと朝食)、佐々木玲奈、笹野井もも、多田雪畝、寺嶋綾香、VAN Jamie (「東京藝大アートフェス 2021²」アーティスト) (順不同)

会期: 2021年11月6日(土)~12月26日(日)

会場: 善通寺市内

詳細は添付チラシの裏面地図をご覧ください。

鑑賞方法: 展覧会ウェブサイトから専用のアプリ³をダウンロードし、ARコードが設置されている場所でスマートフォンをかざすことにより鑑賞。AR展示をすべて鑑賞すると先着でプレゼントがもらえるスタンプラリーを実施予定です。

※ 開館日・時間につきましては各店舗等の営業日・営業時間内に準じます。

各 展 示 共 通

入 場 無 料

- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施します。「リアル展示」やワークショップへご来場の際はマスクをご着用の上、ご来場ください。
- ※ 各プログラムの内容などは、予告なく変更となる可能性がございます。また、政府や都道府県から緊急事態宣言やイベントの開催制限などが発出された場合、現地会場での開催は中止となる可能性がございます。最新情報に関しましては、特設ウェブサイトをご確認ください。
- ※ 「3密」(密閉・密集・密接)を避けるため、入場制限する場合もございます。

プログラム詳細等は、展覧会ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.zentsuji-artfes.com>

² 東京藝大アートフェス 2021 とは:

美術館で絵を展示する、音楽ホールで演奏会を開く、映画館で映像を上映する、という建物の中で作品を発表するという手段ではなく、美術も音楽も映像もデジタルデータにすることによって、同じプラットフォームで発表することができるようになりました。2021年、東京藝術大学では美術、音楽、映像の各研究科の枠を超えてインターネット上で東京藝術大学出身(在学生を含む)のアーティストたちの作品を「東京藝大アートフェス 2021」として発表いたしました。異なる研究領域が同じ発表の場を共有することによって、互いに横断的に刺激し合うことがこれまで以上に活発になり、新たな表現が生まれてくる大きなきっかけになることを目指しています。詳細については下記をご参照ください。

プレスリリース: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000074407.html>

特設サイト(イベントは5月17日に終了いたしました): <https://tokyogeidai-artfes.geidai.ac.jp/>

³ AR専用アプリは香川大学創造工学部・柴田研究室が開発しました。

本リリースに関するお問い合わせ

東京藝術大学美術学部国際連携係 田野邊・金濱

電話: 050-5525-2478

メール: turnote.exhibit@ml.geidai.ac.jp



東京藝術大学



香川大学
KAGAWA UNIVERSITY



善通寺市

TOKYO GEIDAI ART FES BY AUGMENTED REALITY IN 善通寺 ご提供画像

下記の画像を広報画像としてご提供いたします。

ご希望の方は、画像をご指定頂き必要事項をご記入の上、前ページの担当宛までメールをくださいますよう、お願いいたします。

■ お願い：

- 1) 恐れ入りますが、掲載誌一部をご送付いただきますようお願いいたします。
- 2) クレジット表記は画像の下にあるものを表記願います。
- 3) ご取材の際は事前に担当者までご一報くださいますようお願いいたします。

貴媒体名

掲載号 発売日／放映日 年 月 日

貴社名 ご担当者様

TEL FAX

Email



写真 1
過去の巨大漁網作品展示の様子
(東京藝術大学美術教育研究室+染織研究室)



写真 2 過去の漁網づくりワークショップの様子
(東京藝術大学美術教育研究室+染織研究室)



写真 3 青木飴色「思い出を記憶する椅子」



写真 4 東弘一郎「廻転する不在」



写真 5 CAI Qin 「木を見ている時-2」



写真 6 CHEN Wei Ting 「ここに残るのは誰？」



写真 7 千葉理子 「食卓のための祈り」



写真 8 張彬文 「忘れ物 (Ⅲ)」



写真 9 大幸龍悦 「Space Speaks」



写真 10 福原翼 「EG」



写真 11 長谷川将山 「J.S.Bach - 無伴奏フルートのためのパルティータ イ短調 (BWV1013) IV.Bourrée Angloise」



写真 12 廣岡直哉 「タイトル」



写真 13 木南玲「今日の主役」



写真 14 木下裕司「褻の灯 -KENOHI-」



写真 15 小林さらん「彼方」



写真 16 李菲菲「無常の川」

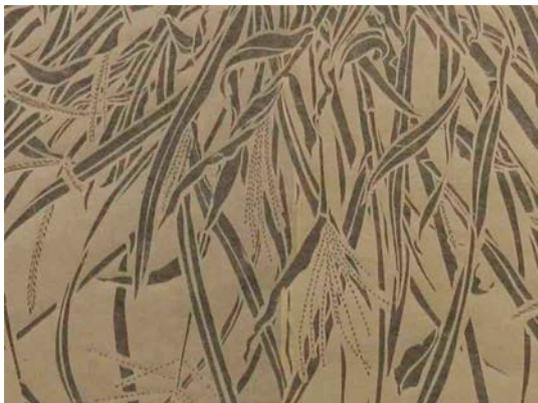


写真 17 中村儒纏「紋-オヒシバ・メヒシバー」



写真 18 西毅徳
「リプル」

© Nacása & Partners
Inc. Futa MORIISHI



写真 19
R&B(ランニングと朝食)
「R&B(ランニングと朝食)」



写真 20 佐々木玲奈「轍」



写真 21 笹野井もも 「人景-waterfall」

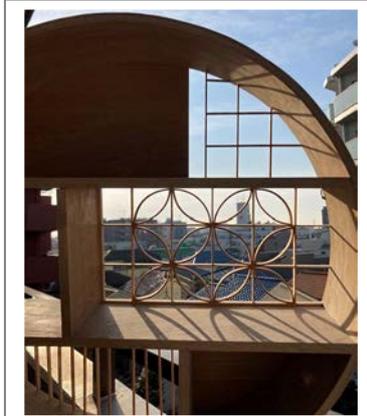


写真 22 多田雪畝



写真 23 寺嶋綾香 「Doki」



写真 24
VAN Jamie 「電車」